

# 香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町2丁目4-27-301

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

E-mail:ktr-ho01@athena.ocn.ne.jp

## 平成19年度香川用水土器川沿岸地区 国営農業用水再編対策事業推進協議会総会 地域用水環境対策協議会総会開催



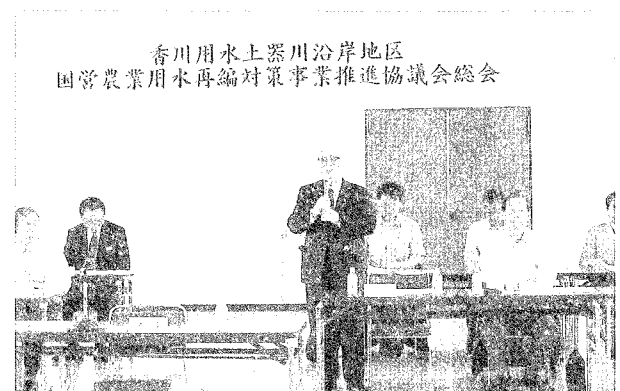
去る8月1日、平成19年度香川用水土器川沿岸地区国営農業用水再編対策事業推進協議会総会が丸亀市内の飯山市民総合センターで開催され、新井会長（丸亀市長）から「本事業の改修により農業用水の安定供給及び維持管理軽減を期待している」次に、香川県土地改良事業団体連合会池田会長から「地域を守るのは地域の人、地域の水を守る意味で一日も早い着工を」とそれぞれ挨拶があり、その後、香川用土地改良区組橋理事長、香川県議会辻村議員、香川県山田農政水産部長から、それぞれ来賓の祝辞が述べられた。

議事に入り事務局から平成18年度事業報告及び収支決算について、次に、四国土地改良調査管理事務所から香川用水土器川沿岸地区農業用水再編対策事業の平成20年度着手について、事業概要、負担金（予定）今後のスケジュール（案）の説明があり、提案された議案について審議・可決され、津村副会長（土器川右岸（連）理事長）の挨拶で閉会した。

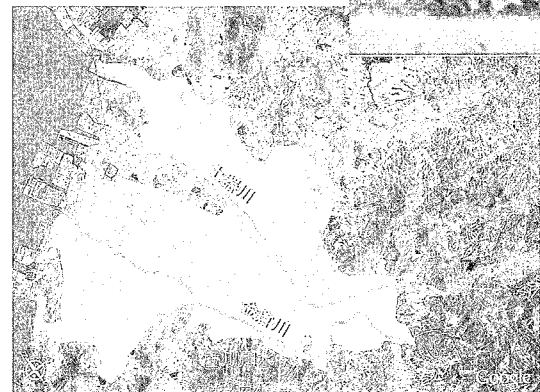
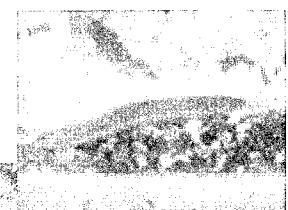
また、引き続き、平成19年度香川用水土器川沿岸地区地域用水環境対策協議会総会が開催され、事務局から平成18年度の協議会事業報告及び収支決算について、次に、四国土地改良調査管理事務所から「環境との調和への配慮に関する計画」について、本地区では、魚類などの生息環境を保全・再生するため、水系ネットワークの改善を図ることになっていると説明が行なわれた。

その後、議事に入り提案された議案について審議、原案どおり可決承認され、閉会した。

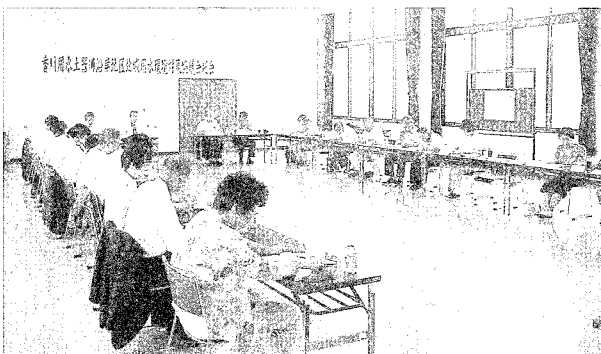
その後、議事に入り提案された議案について審議、原案どおり可決承認され、閉会した。



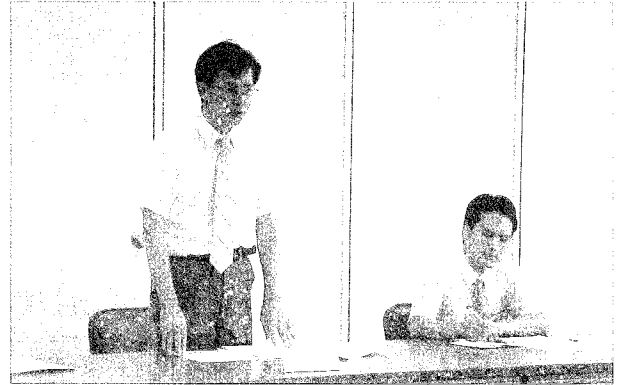
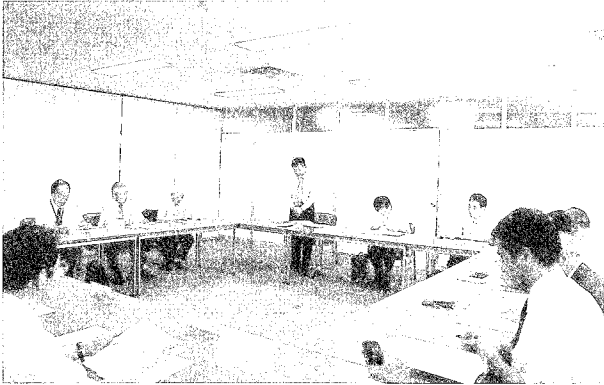
挨拶される池田会長



土器川の沿岸地区位置図



## 平成19年度香川県土地改良管理指導事業推進委員会開催



近年、農業従事者の高齢化、後継者不足、都市化、混住化の進展に伴う集落機能の低下等に起因する土地改良施設管理の困難化が著しく進み、土地改良事業に係る苦情紛争も増加している。

このような状況を踏まえ、土地改良区等が地域住民と連携して実施する施設管理の円滑な実施、土地改良事業推進に伴う紛争等の速やかな解決が図られるよう土地改良管理指導事業が実施されることとなった。

この事業は、本会が事業主体となり土地改良管理指導事業推進委員会を設置し土地改良区等に対し支援、指導を実施することになっており、去る7月19日、本会会議室において第1回の土地改良管理指導事業推進委員会が開催された。

開会にあたり水土里ネット香川山地常務理事から出席者に対するお礼の後、農政改革の三本柱の一つである農地・水・環境向上対策の本格実施に伴い、本会としては東讃、中讃、西讃の各地域協議会事務や各活動組織の活動支援を行ない、農地や水路、農道など適正な維持管理や保全が図られるよう対応して行きたい。

また、県内の農地や水利施設等に関する地図情報のデータベースを整備し農村地域の振興を図るための水土里情報利活用促進事業を今年から4年間かけ実施するので事業の推進にあたり、皆様方の何分のご理解とご協力を宜しく願います。

本日は平成18年度土地改良管理指導事業及び土地改良相談等事業実績について、平成19年度土地改良管理指導事業及び土地改良相談等事業実施計画(案)についてを委員皆様にご審議をいただ

き、本事業の円滑な推進を図りたいと挨拶された。

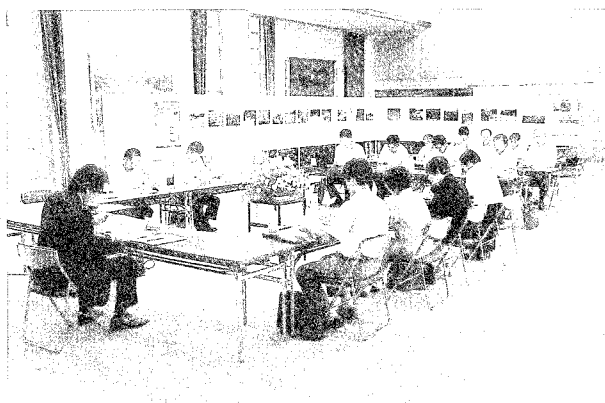
続いて、中国四国農政局農村計画部土地改良管理課山田課長から本年度における水土保全強化対策事業関係予算の中で土地改良施設維持管理適正化事業については、行政改革推進本部から第三者分配型補助金に該当するとの指摘を受け、平成19年度において「第三者を構成員に加えた運営委員会」を設置し、対応を検討することになった。本事業については皆様方に大変よろこばれている事業であり、農政局としても今後検討をしていきたいと思っているので皆様のご協力をお願いすると挨拶された。

続いて、香川県農政水産部土地改良課黒川課長から、平成19年度農業農村整備事業における施設管理の予算関係について、施設の劣化状況に応じた補修・補強を行う「ストックマネジメント」による施設の長寿命化対策が重要項目となっており、「造る時代」から「管理の時代」に大きく転換するなかで土地改良施設の管理は大変重要なものであり、県としても推進していきますので今後とも、より一層のご協力とご支援をお願いすると挨拶された。

続いて、平成18年度香川県土地改良管理指導事業及び土地改良相談等事業実績、平成19年度香川県土地改良管理指導事業及び土地改良相談等事業実施計画(案)について審議され、土地改良施設の管理業務の円滑な実施と事業推進に伴う各種紛争等の速やかな解決に向けた土地改良相談に対する助言・指導などを積極的に実施することを決定した。

## 香川県ふるさと・水と土保全対策推進委員会開催 平成19年度事業計画などを決定

中山間地域や棚田地域などの条件不利地域における農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と共同活動の展開を図り、地域の活性化を推進するため「香川県ふるさと・水と土保全対策推進委員会」が、去る7月13日小豆島町オリブ記念館で開催された。



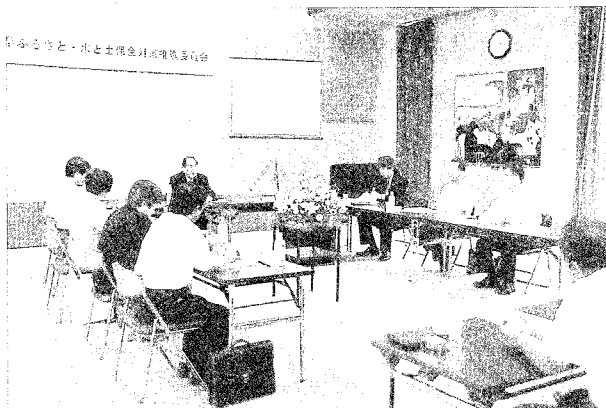
本委員会は平成7年度より開催されており、13回目となった本年度は委員任期の満了による改選があり会長に四国新聞社編集局長の山下淳二氏、副会長に香川大学工学部准教授角道弘文氏が選任された。

委員会開催の前段に現地視察として、小豆島町でオリブ特区制度を活用し会社でオリブを栽培・管理しお茶に加工・販売している(株)ヤマヒサと中山地域の棚田や小豆島内で栽培され

たお米による日本酒の醸造・販売している(株)森國酒造を訪れ代表者から農地や棚田の保全、農業振興、地域活性化のための取組みについて説明を受けた。

推進委員会では、平成18年度事業報告及び平成19年度事業計画について事務局より説明を受け、今後の展開方法など積極的な意見交換がなされ原案どおり承認された。

また、小豆島での「オリブ植栽100周年に向けて」と題して小豆島町坂下一朗町長から講話があり、オリブ導入の経緯や歴史、農業振興としてのオリブ産業の今後の展開などの貴重な話があり、その後委員との意見交換もされ、本事業推進の参考となる有意義な委員会となった。



### 香川県ふるさと・水と土保全対策推進委員

区分	氏名	職名	区分	氏名	職名
会長	山下 淳二	四国新聞社編集局長	委員	藤井美佐子	香川県生活研究グループ連絡協議会会長
副会長	角道 弘文	香川大学工学部准教授	委員	宮井三智子	(財)21世紀職業財団専任講師
委員	香川 洋二	NPO法人どんぐりネットワーク理事	委員	山地 孝士	香川県土地改良事業団体連合会常務理事
委員	多田とし子	エッセイスト	委員	山田 哲也	香川県農政水産部長
委員	福本 昌人	(独)農業・食品産業技術総合研究機構上席研究員			

さめき “水の歴史考”

平井忠志  
（「四国作家」同人）**(48) 執念の廃池復活****はじめに**

平安時代の始めごろ三豊市高瀬町麻に、高瀬川の本流を締め切って「勝間次郎」という巨大な池が築造されたという。流域に五本の支流を抱えていたため、洪水のたびに決壊を繰り返し、戦国時代に廃池の運命に追い込まれたといわれる。

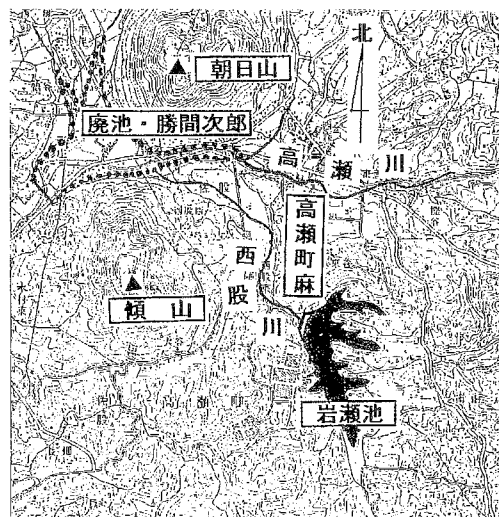
そんな廃池を「岩瀬池」として復活させた男がいた。地元の郷士・武田五兵衛である。ここに復活にかけた執念と、その時代背景を追ってみることにする。

**二の舞を避ける**

天文元年（1532）に「勝間次郎」が廃池となったあと、高瀬川沿岸の水田は毎年のように、干ばつにあえいでいた。これを憂えたのが高瀬郷竹田の郷士・武田五兵衛であった。

彼は現地踏査の結果、高瀬川の支流・西股川の上流で阿魔ヶ谷と呼ばれる地に、格好なダムサイトを見つけた。難をいえば流域が小さかったが、大洪水の危険が少ないため、「勝間次郎」の二の舞は避けられる。

だが一つ難問があった。計画の池敷きは麻口城主の近藤長頼の領地であり、その了解を得る必要があった。



廃池・勝間次郎と岩瀬池（三豊市高瀬町麻）

**身命かけて用地拝借**

そこで五兵衛は伝手<sup>つて</sup>を頼って、麻口城主に阿魔ヶ谷の池敷の借用を願い出た。その文書が残っている。

「（勝間次郎が廃池となったため）庶民難儀に付き、寄る所もなく之を嘆きおり候……（略）右、阿魔ヶ谷を拝借仕りたき旨、貴公様より右の旨、逐明に長頼殿へ申し進め……（略）身命の働き、願入奉り候」  
元龜二年辛未二月（高瀬町誌）

時は戦国時代で、このころ讃岐では各地に小豪族が割拠していた。五兵衛は戦場での働きを誓って、借用を願い出たのである。

幸い麻口城主は、庶民のためなればと承知し、五兵衛は起請文一札を入れて永代借用が認められた。

**讃岐にも戦乱の余波**

五兵衛は早速、岩瀬池の築造手配を始めたが、世は戦国時代の真っ最中とあって世情は騒然としていた。中央では織田信長が、大阪の石山本願寺（後の大阪城）を攻めあぐねていた。

その余波は讃岐の一向宗徒にも及んだ。五兵衛が池所の用地借り上げに奔走していた元龜二年（1571）には、武田信玄の要請により、香西郡常福寺や鵜足郡西光寺の一向宗徒が蜂起したという。その四年後の天

正三年には、西光寺が石山本願寺に、青銅七百貫と救援米五十石を送っている。（『香川県大百科事典』）  
そんな有様だから、とても池造りの人夫を集めるような世情には程遠かったようである。

### 長宗我部が讃岐侵攻

一方、戦火は讃岐にも刻々と迫っていた。土佐に君臨していた長宗我部元親が、阿波・伊予・讃岐を併呑しようと、各地に兵を進めていたのである。讃岐では本篠城（三豊市財田町）が侵略の矢面に立った。

天正六年（1578）武田五兵衛は主家の命を受け、郎党を率いて本篠城の救援に駆けつけた。激戦のあげく本篠城は落城し、城主・財田和泉守常久は戦死した。五兵衛も郎党をすべて失い、一時は斬り死にを覚悟したが、岩瀬池の築造が気にかかり、身一つで逃げ帰ったという。

長宗我部の進撃は止まなかった。翌年、天霧城の香川氏、続いて羽床城の羽床氏が降伏した。さらに次の年には勝賀城の香西氏が降伏し、東讃を残して讃岐は長宗我部の勢力下に入った。

### 生駒藩の初期に着工

さらに戦国の世は続く。天正十年（1582）本能寺の変で織田信長が倒れる。同十三年、豊臣秀吉は長宗我部を攻めて四国を平定し、讃岐の領主は仙石権兵衛となる。

同十五年に秀吉は九州を平定し、不都合のあった仙石氏を追放して、讃岐一国を生駒親正に与えた。同十八年、秀吉は小田原城を攻め、生駒親正もこれに参戦、ようやく天下平定にこぎ着けた。讃岐の国情もやっと平静を取り戻した。

かねて岩瀬池の築造に執念を燃やし続けてきた武田五兵衛は、この機会を逃さなかった。天正十八年（1590）二月、待ちに待った岩瀬池の築造に取りかかった。

### 阿魔ヶ谷の魔性を調伏

ところがいざ工事に掛かろうとすると、怪しい出来事が次々に起きたという。「魔性の障りに違いない。お祓いをせねばならぬ」と五兵衛は思った。さっそく大麻神社（善通寺市）に調伏を依頼したところ、怪しい老婆の声があったという。

「私は長宗我部の軍に滅ぼされた、本篠城主・財田和泉守の母親である。そのとき敵の手引きをしたのは、この麻村の炭焼きであった。私は恨みを抱いてこの地にきたが、改めてこの池の守り神になろう」といって退散したという。（桂重喜著『讃岐の池と水』より）

こうして岩瀬池は無事着工し、二年後の文禄元年（1592）に竣工した。この時の岩瀬池の規模は定かでないが、この年、生駒藩は秀吉の命により塩飽水軍を率いて、朝鮮に出兵している。おそらく戦乱に明け暮れた生駒藩の援助も望めず、池はかなり小規模だったのではなかろうか。

### 西嶋八兵衛が増築

こうして武田五兵衛の執念により築造された岩瀬池には、一つ泣き所があった。あまりにも流域が小さいため、降雨の多い年でないと満水出来なかったのである。

これを解決したのは、讃岐の水利の恩人と言われる西嶋八兵衛である。讃岐生駒藩の若き藩主を補佐するため、伊勢藤堂藩から派遣された八兵衛は、満濃池の復興をはじめ多くの大池を新築、増築している。岩瀬池の増築もその一つであった。

寛永七年（1630）、八兵衛は岩瀬池を嵩上げすると共に、麻の榎谷口に井関を設け、高瀬川本流の水を掛井手で岩瀬池に導水した。武田五兵衛の執念は八兵衛に引き継がれ今では香川用水の分水も受けて、県下屈指の大池として安泰を誇っている。

# 香川県農道整備事業推進本部 事業連絡会開催

去る6月14日(木)、香川用水記念会館5階会議室において、平成19年度香川県農道整備事業推進本部事業連絡会が、担当者32名(香川県職員及び15市町職員)の出席を得て開催された。

開会にあたり、香川県土地改良事業団体連合会山地常務理事から出席者の方々に対するお礼の後、平成19年度より本格実施されている農道・水・環境保全向上対策の状況を紹介した。

また、平成19年度に香川県土地改良事業団体連合会が採択申請をしている水土里情報活用促進事業については施設管理において有効な事業であり、農道についても有効に利用できるようご理解とご協力をお願いするとともに、農道について適正な管理の協力をお願いした。

続いて、来賓として出席された香川県農政水産部土地改良課黒川課長の挨拶があり、県では農道を地域における重要な社会資本として位置づけ、大規模農道をはじめ農免道路などの整備に努めた結果、平成18年度には4地区が完了した。しかしながら、厳しい財政状況を背景に、公共事業のあり方も議論される中、整備にあたっては従来にもまして農道の機能や役割分担の明確化、効率的・効果的な事業計画の推進が求められている。今後とも農道整備事業の推進に

ご理解とご協力をお願いしたいと述べられた。

続いて、協議に移り、第1事項の平成18年度事業報告について香川県土地改良事業団体連合会企画指導課竹内係長から報告があった。

農道台帳作成に伴う記載数値の点検

6市町 222路線 61.0km

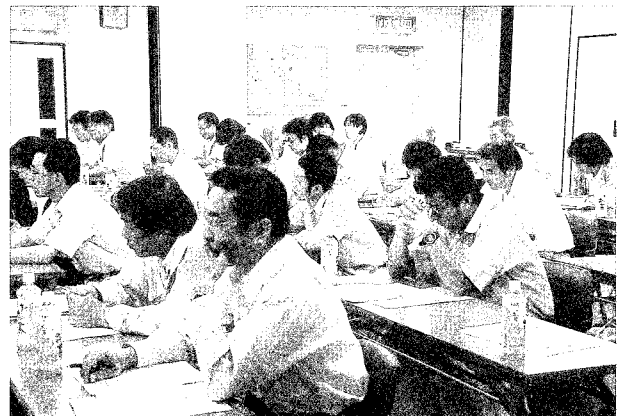
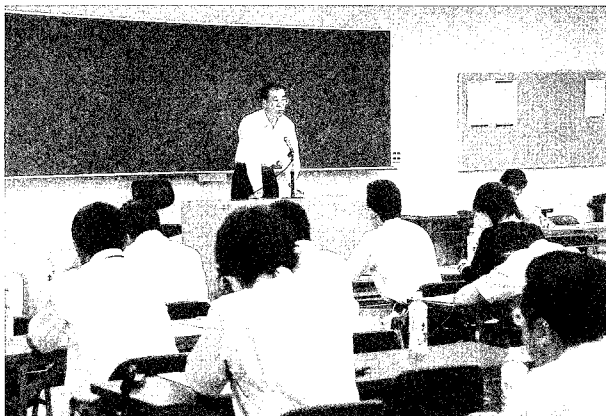
一定要件農道延長の照合・報告

12市町 642路線 260,654m

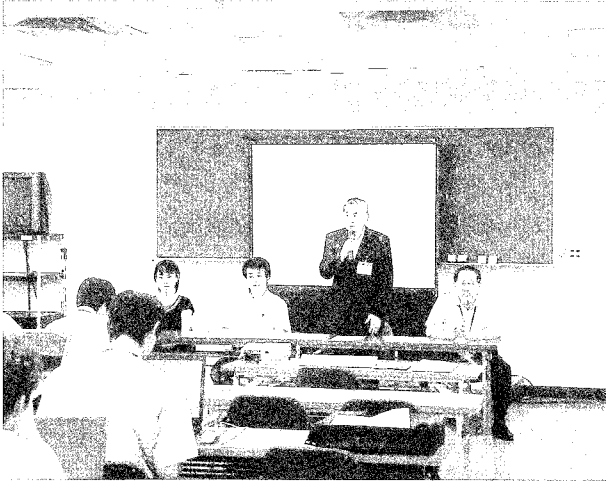
次に平成18年度事業収支及び平成19年度事業計画・予算について、平成19年3月23日開催の香川県土地改良事業団体連合会第49回通常総会にて承認いただいたとおりの内容で報告があった。

次に、農道台帳作成状況の報告があり、その中で平成18年度は市町合併に伴い、市町管理農道の見直しがあり、延長が減少することとなった。

第2事項の農道整備事業について香川県農政水産部土地改良課亀野課長補佐から、農道整備事業等の平成19年度予算について、ふるさと農道緊急整備事業について、農道整備事業の変遷について、農道整備事業の概要、農道保全対策事業について、そして農道保全対策事業の創設に係る要綱・要領の改正について説明をされた。



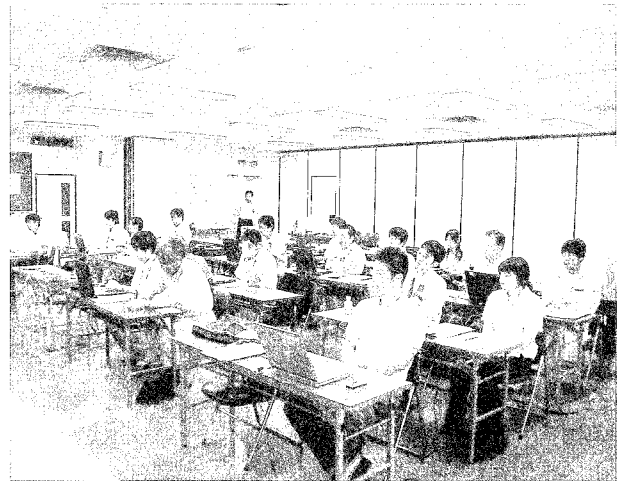
## 補助版標準積算システム研修会開催



農業農村整備標準積算システム香川県補助版保守業務の一環として運用管理者研修会が、去る7月5日(木)～6日(金)、香川用水記念会館5階研修室において、県内11市町19名の参加のもと開催された。まず、主催者を代表して、水土里ネット香川 川西事務局次長から本会の業務運営に対する支援・協力へのお礼が述べられ、続いて農業農村整備事業の施策として基盤整備の推進、農業水利施設等の適切な更新・保全管理、農村環境の保全・形成に配慮した基盤整備の実施、効率的・効果的な事業の実施を確実に推進するために水土里ネット香川と会員との連携をなお一層蜜にする必要があると述べられ、最後に本年10月に積算システムがバージョンアップすることに対するパソコンハード対応並びに積算システムに関する管理体制セキュリティーには格別の配慮をお願いする旨の挨拶があった。

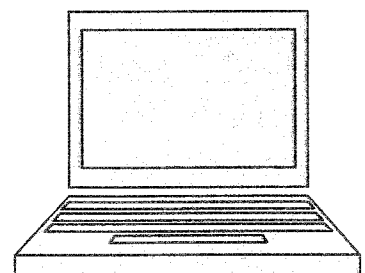
続いて以下の4名が講師として紹介され開会式は終了した。

県農政水産部 農村整備課 長尾副主幹



県農政水産部 農村整備課 久保主任  
水土里ネット香川 電算課 石田副主幹  
水土里ネット香川 電算課 高橋主事

開会式の後、積算システムのパソコンへのインストールからスタートして運用管理・積算処理、エクセル版諸経費計算などパソコンを使用しながら詳細の説明があった。本研修会が始まって既に9年目に入り、開始当時と比較してパソコン運用に対する能力の進歩、パソコンのハード/ソフト・積算システムの機能充実などでほとんどトラブルもなく、最後に両日に亘る研修内容についての質疑応答があり盛会裡に終了した。



## 「ふるさと探検隊」が行く

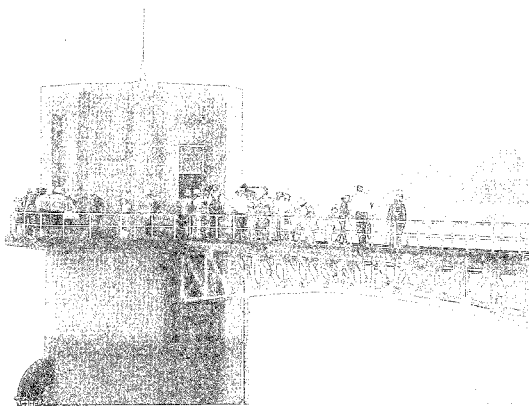
### 高松市内の小学生がため池・水路など土地改良施設の役割を学ぶ 満濃池・香川用水・豊稔池を見学

香川県農政水産部農村整備課では、県内の代表的な土地改良施設を見学し、施設の役割や歴史について理解を深めてもらうため、高松市内の小学生を対象に「ふるさと探検隊」を開催している。

本年度は、高松市PTA連絡連絡協議会と協賛のもと、小学生と保護者合わせて64名の参加を得て、8月1日に実施された。

「ふるさと探検隊」は、中山間ふるさと・水と土保全対策事業の一環として実施しているもので、中山間や棚田地域にあるため池や水路・農道などの土地改良施設は、農業生産活動だけでなく、地域に住んでいる人々にうおい・やすらぎ、快適な憩いの場の提供や水資源の涵養など様々な機能を有する重要な施設で、将来にわたり維持保全を図っていくことが重要であることへの理解促進を目的としている。

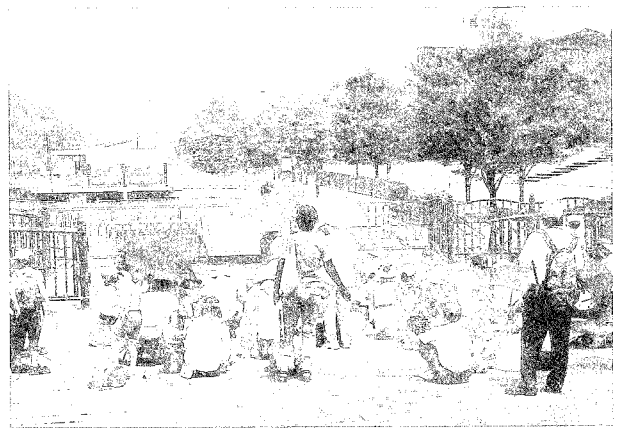
当日、探検隊は8時30分に県庁で出発式を行った後バス2台に分乗し、最初に満濃池を訪れ、日本最大クラスの大きさに驚愕しながら満濃池土地改良区の宮本課長から歴史、規模、構造について説明を受けた後、普段見学することのできない取水塔の中で、取水バルブの開閉など操作方法の説明を受けた。



次に、三豊市財田町にある香川用水東西分水工を訪れ(独)水資源機構の職員から早明浦ダムから吉野川を流下した水を池田ダムで取水し、阿讃山脈を貫く8kmのトンネルを経て香川県に導くまでの仕組みや、毎秒14m<sup>3</sup>の水を県内各地に配水

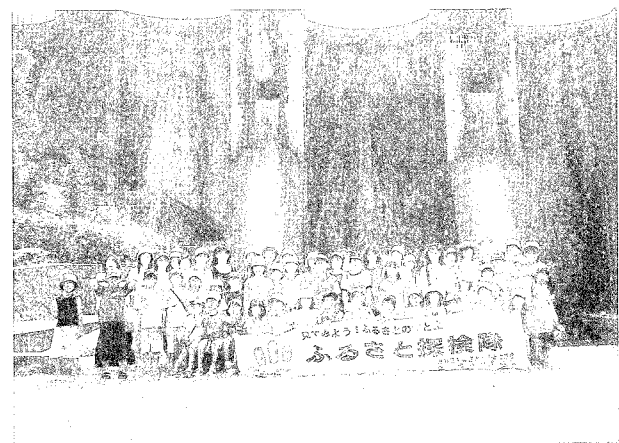
している状況の説明を受け、水の大切さを学ぶとともに分水工で東西に分かれて流れる多量の水の迫力に驚ろきを見せていた。

また、香川用水記念公園では香川用水事業の映像や展示資料の見学をした後、子供たちは着替に着替え園内にある「じゃぶじゃぶ池」で水と親しみながら親子団らんのひと時を過ごしていた。



最後に探検した豊稔池では、中世ヨーロッパの古城を思わせる石積アーチダムの歴史や役割、規模・改修工事内容について香川県西讃土地改良事務所の職員から説明を受け、施設の重要性と貴重な財産であることを学んだ。

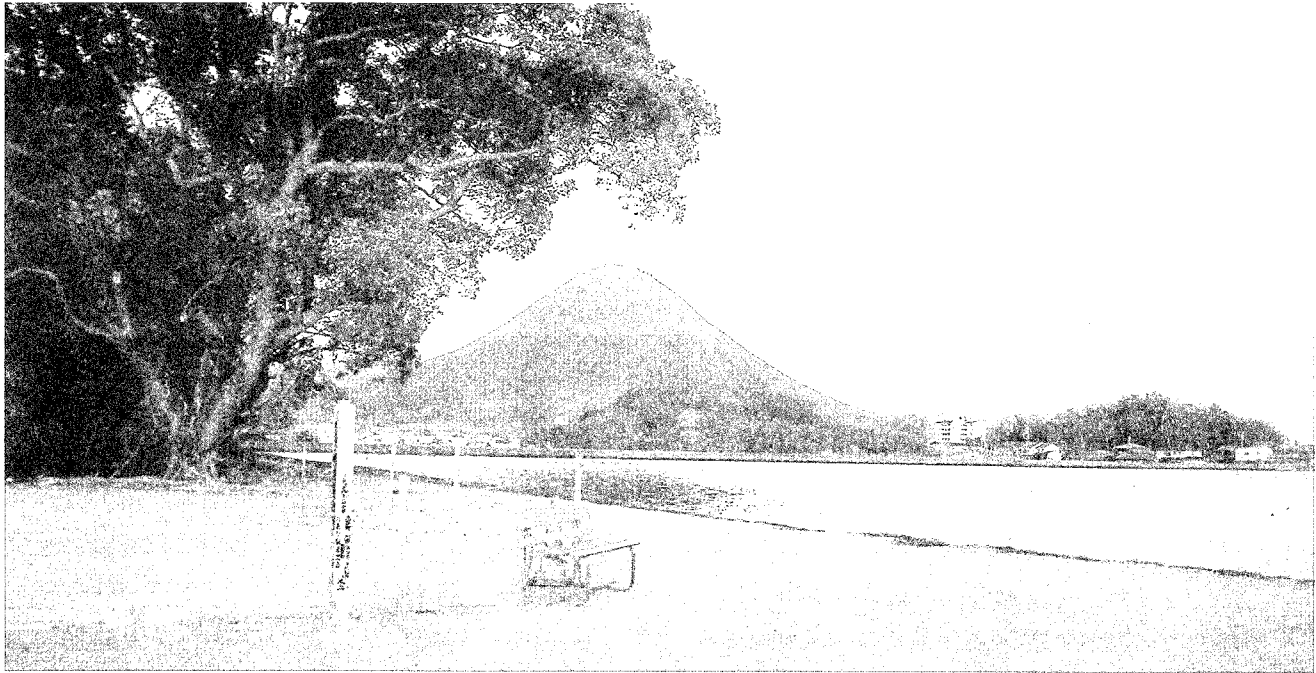
県内の代表的な土地改良施設を探検し、各施設の大切さと今年のような渇水状況の中、水の貴さを知ることができ参加者にとって有意義な1日を過ごすことのできた「ふるさと探検隊」となった。





# UDON

## ロケ跡地探訪



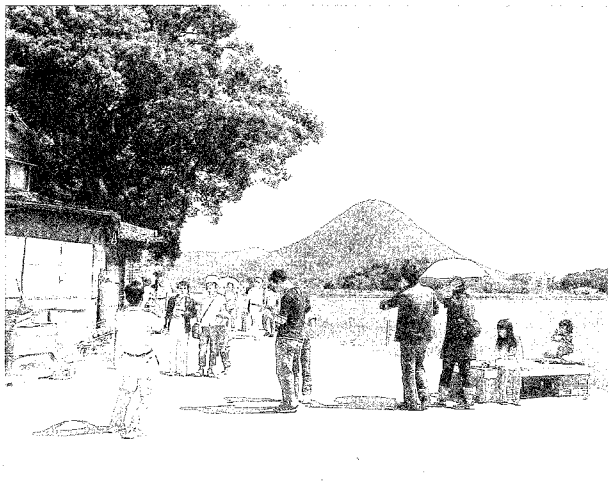
台風一過、満々と水を湛えた宮池（丸亀市土器町土地改良区 富家 優 理事長）の辺に、赤いベンチが置かれている。

ここは、映画「UDON」で賑わった松井製麺所が取り壊された跡地であり、傍らに記念の木碑が立てられている。

腰掛けてみると、静寂のなか小鳥の囀りが十二社宮の森から聞こえてくる。

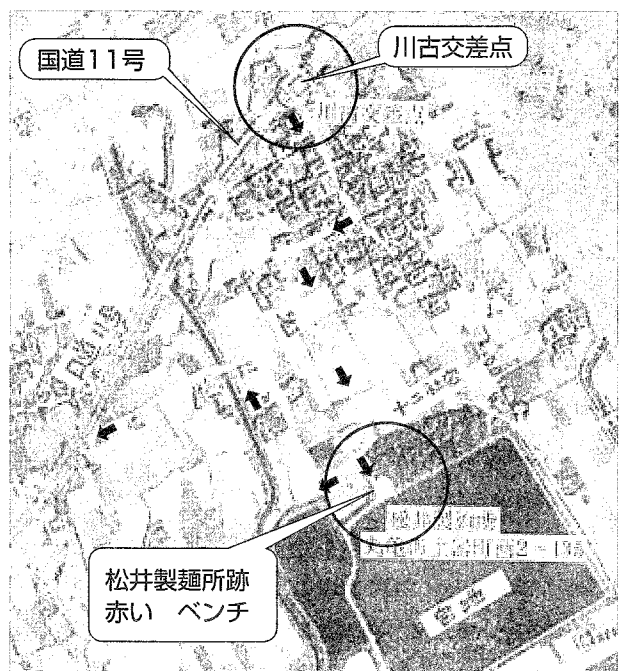
水面の向こうに仲良く並んだ双子山、おむすびの形をした飯野山（讃岐富士）、城山が一望できる景観は絶景である。

静かな水面に浮かぶ、逆さ富士に水鳥の群れ



を見てみると別世界に来ているようで、いつまでも佇んで居たい気持ちになってくる。

赤いベンチから北を望めば、市街の中に緑に包まれた丸亀城、視線を西に向けると空海生誕の善通寺、少し南に「こんぴらさん」の祀られた象頭山、讃岐平野の南に阿讃の山並など、四季の彩りを楽しめる絶好の場所である。



（水土里レポーター 横井順一）

## 会 と 催 し

- |      |  |     |   |
|------|--|-----|---|
| 7月4日 | 平成19年度農業農村整備サマーセミナー<br>(東京都)                                 | 24日 | 全国国営総合農地防災・直轄地すべり対策事業促進協議会提案活動<br>(東京都)       |
| 5日   | 補助版標準積算システムver.2研修会<br>(高松市)                                 | 25日 | G I S 専門技術者育成研修会<br>(東京都)                     |
| 6日   | 平成19年度中部地区当務者会通常総会、土地改良相談<br>(高松市)                           | 25日 | 香川県農業水利施設管理検討会ワーキンググループ<br>(高松市)              |
| 9日   | 平成19年度国営総合農地防災大川地区連絡協議会役員会<br>(さぬき市)                         | 25日 | 土地改良担当者周知会、土地改良相談<br>(観音寺市)                   |
| 9日   | 平成19年度大川地区土地改良協議会役員会<br>(さぬき市)                               | 26日 | 平成18年度農地集団化研究会及び第39回中国四国農地集団代協議会通常総会<br>(高松市) |
| 10日  | 綾川流域水環境保全推進協議会総会<br>(綾川町)                                    | 27日 |   |
| 10日  | 平成19年度換地事務指導研究会及び異議紛争処理対策検討会<br>(宮崎市)                        | 30日 | 農地・水・環境保全対策点検機能診断説明会<br>(高松市)                 |
| 10日  | 基盤地図情報の整備に関する意見交換会<br>(高松市)                                  | 31日 | 平成19年度農業集落排水(管理技術)研修会<br>(東京都)                |
| 12日  | 平成19年度基幹水利施設管理技術者育成支援事業研修企画委員会<br>(東京都)                      |     |   |
| 12日  | 香川県農業会議賛助団体会議<br>(高松市)                                       |     |   |
| 13日  | 香川県ふるさと・水と土保全対策推進委員会<br>(小豆島町)                               |     |   |
| 13日  | 平成18年度「食料・農業・農村白書」、「森林・林業白書」及び「水産白書」に関する中国四国ブロック説明会<br>(岡山市) |     |   |
| 19日  | 香川県土地改良管理指導事業推進委員会<br>(高松市)                                  |     |   |
| 19日  | 香川県換地等促進事業推進委員会<br>(高松市)                                     |     |   |
| 23日  | 常任会議員会議(香川県農業会議)<br>(高松市)                                    |     |   |
| 23日  | 平成19年度中部地区土地改良協議会第1回役員会<br>(高松市)                             |     |   |

